

# 2025年への対応方針

【2019年改訂版】

## 1. 基本情報

【2019年 10月時点】

|       |  |
|-------|--|
| 医療機関名 | 医療法人十薬会 上大類病院  |
| 所在地   | 群馬県高崎市上大類町759  |
| 沿革    | 1976年 9月 上大類診療所（内科・小児科）病床8床にて開設<br>1981年 4月 20床に増床し上大類病院病院に変更<br>1990年 4月 病院を現住所に移転、老人保健施設若宮苑（50床）を併設<br>1991年 4月 高崎市より在宅介護支援センター若宮苑を受託<br>1997年10月 20床から25床に増床<br>1999年 4月 居宅介護支援事業所上大類在宅ケアセンター併設 |

## 2. 病床について（病床機能ごとの病床数（一般・療養））

|    |        |       |        |     |     |      |
|----|--------|-------|--------|-----|-----|------|
| 現在 | 合計     | 高度急性期 | 急性期    | 回復期 | 慢性期 | 休棟中等 |
|    | 25 床   | 床     | 25 床   | 床   | 床   | 床    |
|    | 平均在院日数 | 日     | 20.0 日 | 日   | 日   | 日    |
|    | 病床稼働率  | %     | 80.0 % | %   | %   | %    |



|               |      |       |      |     |     |    |             |
|---------------|------|-------|------|-----|-----|----|-------------|
| 将来<br>(2025年) | 合計   | 高度急性期 | 急性期  | 回復期 | 慢性期 | 廃止 | 介護保険施設等への移行 |
|               | 25 床 | 床     | 25 床 | 床   | 床   | 床  | 床           |

|                   |  |
|-------------------|--|
| 2025年に向けた病床活用の見通し | 急性期の治療を主軸として提供する他、医師体制の充実を図り、在宅療養支援病院への意向を目指す予定。また、短期間で長期的なケアマネジメントが困難な患者様を対象とした急性期病院の後方支援病院として、或いは、概ね数日から数週間以内と診断されたターミナル末期患者様の看取り（場合に依りて在宅での看取り）を提供するための体制及び人材育成を継続してゆく。 |
|-------------------|--|

## 3. 医療機能について

|      |                      |
|------|----------------------|
| 診療科目 | 4 科（内科、循環器科、小児科、精神科） |
|------|----------------------|

|    |              |     |       |         |          |          |
|----|--------------|-----|-------|---------|----------|----------|
| 現在 | ○ : がん       | 脳卒中 | 心血管疾患 | ○ : 糖尿病 | ○ : 精神疾患 | ○ : 在宅医療 |
|    | 救急           | 災害  | へき地   | 周産期     | ○ : 小児   | その他      |
|    | 「その他」の具体的な機能 |     |       |         |          |          |



|               |              |     |       |         |          |          |
|---------------|--------------|-----|-------|---------|----------|----------|
| 将来<br>(2025年) | ○ : がん       | 脳卒中 | 心血管疾患 | ○ : 糖尿病 | ○ : 精神疾患 | ○ : 在宅医療 |
|               | 救急           | 災害  | へき地   | 周産期     | ○ : 小児   | その他      |
|               | 「その他」の具体的な機能 |     |       |         |          |          |

#### 4. 連携している医療機関について

|           |      |            |  |
|-----------|------|------------|--|
| 主な紹介元医療機関 | 日高病院 | 高崎総合医療センター |  |
| 主な紹介先医療機関 | 日高病院 | 高崎総合医療センター |  |

#### 5. 当院の特徴について

|                           |   |
|---------------------------|---|
| 特徴的な<br><br>チームケア         | 上大類病院の他、併設の介護老人保健施設及び居宅介護支援事業所上大類在宅ケアセンター、高崎市高齢者あんしんセンター若宮苑の各担当者（概ね15名）によるケア委員会を毎週開催して情報の共有および適宜ケース検討を行い、小児から高齢者までの幅広い年齢層において、施設療養から在宅介護、在宅医療まで一貫したサービスを提供できる体制を整えている。  |
| 特徴的な<br><br>認知症ケア・ターミナルケア | 介護老人保健施設を併設していることから、要介護高齢者の入院が多数を占めます。その中でも、特に認知症を有する患者様の治療においては、認知症ケア専門棟のノウハウや、法人内の抑制廃止委員会、事故対策委員会と共同して、対応しております。他医療機関からの信頼もあり、「上大類病院でしか受けてもらえないだろう」等、比較的重度の認知症を有する患者様の紹介を受けることが多々あります。また、看取りに関しましては、ターミナルケア委員会を組織し、積極的な治療より疼痛緩和や家族関係の融和に力を注ぎ、本人家族共に穏やかな看取りが行えるよう支援しております。 |

#### 6. 現状と今後の方針等

|                         |   |
|-------------------------|---|
| 当院の現状                   | 平成2年に介護老人保健施設を併設して以来、併設の居宅介護支援事業所や高崎市高齢者あんしんセンターと連携し、地域包括ケアの実践にに取り組んできました。しかし、在宅ケアの一翼を担っていた訪問看護ステーションを経営面での事情で閉鎖したこと。また、外来常勤医師の高齢化等も加わり、在宅ケアに取り組むためのマンパワー不足が否めない状況です。また、周辺地域におけるサービス付高齢者住宅の急増に伴い、この間、在宅を拠点として施設等を利用しつつ、日常的な医療管理は上大類病院で行っていたが患者、施設利用者が軒並みサービス付高齢者住宅へと入居してゆくため、外来・入院そして施設利用者の減少が著しく、新規患者の獲得に苦心している状況です。 |
| 当院の未来像                  | 総合的には、急性期病院としての役割を維持してゆきつつ、医師体制を主軸とした人的、その他必要な体制を整え、在宅療養支援病院への移行を目指す予定です。また、短期間で長期的なケアマネジメントが困難な患者様を対象とした急性期病院の後方支援病院として、或いは、概ね数日から数週間以内と診断されたターミナル末期患者様の看取り（場合に依りて在宅での看取り）を提供するための体制及び人材育成を継続してゆく予定です。   |
| その他<br>(県民・受診者へのメッセージ等) | 私たちが特に力を入れて取り組んでいるのが「地域包括ケア」です。子供からお年よりまで、また深刻な障害を抱えた方々が、住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、医療と介護(福祉)とを密に連携させることによって、入院が必要な場合等、万が一の場合にも迅速に対応いたします。   |